

# 第六回大分活性化フォーラム

外国人従業員からみた大分(日本)

～海外人材の視点を活かした地域活性化やビジネス構築に向けて～

---

大分銀行 法人営業支援部

国際営業室 張 康尔



# 自己紹介

---

- 出身：中国・上海
- 子供の頃からアニメに興味
- 上海の大学で日本語を勉強（2年間）
- 2008年来日
- 日本語学校で日本語能力試験N1認定まで勉強（1年半）
- 立命館アジア太平洋大学（4年間）
- 2014年大分銀行に入行



## 1-1. 来日するまで

---

- 子供の頃からアニメに興味
  - アニソン(アニメソング)で日本語の勉強・練習
  - 中学校の時から毎年大分旅行
- 上海の大学で日本語の勉強(2年間)
  - 2年生の時に、留学を決意



## 1-2.就職するまで

---

- 日本語学校で日本語の勉強
  - 異文化理解力の養成
- 大学 (APU) で国際経営・経済学を勉強
  - 大分での生活に馴染む
- 大分銀行応募きっかけ
  - 大学で勉強した金融知識を生かすため。馴染んだ大分に貢献したいという気持ち



## 2-1.大分について思うこと(生活面)

---

- 温泉、豊かな自然
- 観光案内板の設置、案内方法
  - 外国人観光客への配慮
  - 言語バリエーションに改善余地あり
  - 翻訳レベルに改善余地あり
- 公共交通機関や公共施設の利用
  - 電車・バスの本数が少ない
  - 車内の案内について多言語化が望ましい



## 2-2.大分について思うこと(仕事面)

---

- 大分の企業
  - 情報発信が足りない(コマーシャルなど)
  - IT化が進んでいない(HPなど)
  - 企業の数が少ない
- 大分銀行で働く魅力
  - 地域密着型金融を携われる
  - 付加価値の創出に貢献できる
  - 上司や同僚からの思いやり
- 外国人従業員を受け入れる企業に求めること
  - 異文化理解、コミュニケーションのサポート
  - 外国人のスキルや経験の活用
  - 一時帰国できる制度



## 3. その他

---

- 長期滞在型インバウンドを増やす
  - 地域魅力の発信、外国人が生活しやすい環境の整備（医療）
  - 企業として外国人が働ける職場環境を作る
  - 定期的な異文化イベントの開催
- 防災・減災について
  - 建物は丈夫
  - 避難誘導SMS、避難先指定明確
  - 中国もここ近年防災教育や訓練を重要視。防災意識の向上



## 3. その他

---

- 外国人の金融サービス利用
  - 留学生はクレジットカードの申請が難しい
  - 永住権がないと、ローンの申請が基本的にできない
  - 住宅の賃貸に制限が多い
  - 携帯の新規契約
- 中国の一人っ子政策
  - 2014年まで実施されていた政策
  - 一人しか子供がいないため、親としてそばに置きたい
  - 親孝行を重視する中国人の国民性から、いずれは帰国し親元に戻る  
(親の老後の面倒を見る)





## 4. 今後の人生設計

---

- 大分で働き続ける
- 大分の良さをもっと海外向けに情報発信する
- 大分での生活を満喫する
- 大分とともに成長していく



---

最後まで、ご清聴ありがとうございました